



“さくらの会”便り

発行責任者	会 長 田中 明
編集責任者	事務局長 上原 栄
Tel.0773-22-7859	

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

支援コーディネーター設置決まる

京都北部の拠点に

さくらの会は、平成27年度から毎年、京都府北部に高次脳機能障害者の支援拠点の整備と専任の支援コーディネーターの配置について、京都府及び舞鶴市・綾部市・福知山市に要望書を提出してきました。6月の京都府議会（定例会）において設置が決まりました。

場所は、京都府中丹東保健所内（舞鶴市字倉谷）です。

今後、当事者・家族にとって、充実した内容になるよう期待しています。今後とも、皆様のご支援をお願い致します。

『病院と地域を繋ぐ』10月7日研修会

「第3回 病院と地域を繋ぐ」と題して平成30年10月7日に福知山市民交流プラザで講演会と多職種連携ワークショップを開催します。

第1部の講演会テーマ「京都北部地域の現状と連携」は、本多伸行氏（関西福祉科学大学）の進行で、下記のとおり4人の先生に講演をお願いしています。

- ① 足立美幸氏（中丹西地域リハビリテーション支援センター市立福知山市民病院作業療法士）：「当院での高次脳機能障害者様への取り組み」
- ② 松村 充氏（福知山市障害者生活支援センター「青空」）：「福知山市の現状について」
- ③ 京都府健康福祉部（リハビリテーション支援センター担当者）：「京都府リハビリテーション支援センター（北部）の

活動について」

- ④ 大瀧周平氏（福知山市障害者福祉課）：「まず一声！～障害福祉サービスへのつなげ方～」

第2部は、本多伸行氏の司会・進行で、多職種連携ワークショップ「当事者の声を聞いて連携を模索する」として、当事者・家族の声：受傷してからの体験を聞き、ワークショップを行います。

申し込みは、チラシの裏面を使用して、FAXまたはメールで10月5日までにさくらの会事務局上原までお願いします。

現在、チラシ裏面の団体と市町に後援を申請中です。



ネットワーク 会議が開かれる

6月15日に舞鶴赤十字病院東館1階講堂において、第28回京都府高次脳機能障害（北部）ネットワーク会議が開催されました。

京都府における高次脳機能障害者への支援状況や高次脳機能障害に対する各機関の役割と支援内容に関する報告があり、さくらの会からも事務局長の上原が活動報告を行いました。

また、京都市地域リハビリテーション推進センターからは、「高次脳機能障害に特化した生活・機能訓練施設の実態と現状について」、京都府リハビリテーション支援センター長から「高次脳機能障害者における就労・地域支援の調査報告がありました。

さくらの会からは、田中、高橋、山添2人、野村、上原の5名が参加しました。

JR西日本 あんしん財団から所感

平成29年度の「慢性期の高次脳機能障害者のグループ訓練後におけるフォローアップ及び専門職スタッフの体制作り」として行った29年6月11日及び11月19日の2回の講演会とグループワークについて、JR西日本あんしん社会財団から次の所感を頂きました。

「本活動によるグループワークと講演によって高次脳機能障害者のグループ訓練後の訓練の成果が確認されるとともに、知識向上と医療関係スタッフ（作業療法士・言語聴覚士など）間の支援体制の土台作りのスタートとなりました。今後地域における高次脳機能障害の支援拠点と支援コーディネーターの配置に繋がる継続活動を期待します。」

学習会は中止

7月8日に開催予定の福知山市リハ学習会は、梅雨前線による連日の大雨特別警報のため中止となりました。

カラオケ交流会 予定してます



9月30日午後1時30分～4時30分の予定でカラオケ交流会を開きます。
場所は、いつもの「まねきねこ」
お楽しみに！

○第8回公募助成成果発表会

・平成30年7月30日に第8回公募助成成果発表会がホテルグランヴィア大阪にて行われ、事務局の上原が「ポスター発表」の形で参加しました。成果発表のステージ発表10組のあと講評、続いてポスター発表の会場に移動し、交流会に参加しました。京都北部からは、「みわのわ」（福知山市三和町）が“福島県 双場郡の子どもサマーキャンプ”の活動テーマでポスター発表に参加されていました。

第8回公募助成 成果発表会



【編集後記】
▼猛暑・酷暑の夏でしたが、皆さん大丈夫でしたか。
▼私は、冷房の部屋で居ることが多いと、体調が悪くなるため、暑さを避けて夜に歩いたりしていました。
▼まだまだ暑さが続くのかそれとも、爽やかな秋風が吹く季節に近づいてくるのか・・・
▼どちらにしても体調管理を十分に！！